

# 井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。  
17ページに掲載している広報ク  
イズの答えと一緒に、気ままなひ  
とこと、ちょっと言いたいひとこ  
とを、お待ちしております。

## 読者の伝言板

- 今年初めて「緑のカーテン」に挑戦しました。アサガオの種を図書館からいただいた。つるがグングン伸びて涼しいし、きれいだし、心が和みます(チヨコさん 55歳・大住)
- 一人暮らしになって、今まであまり感じることもなかった庭の草木の生命力に元気をもらっています(K・Aさん 81歳・牛島)
- ごみの野外焼却は心が痛みますね。私になにも協力できませんが、コンポスト2個を用意して生ごみでたい肥作りをして、花々や少し野菜を作っているのを利用して。トマトやゴーヤは屋根まで伸びて私たちを喜ばせてくれます。毎日上から私たちが見られているようです。楽しい土作りです。市民のみなさんもごみ減量のため「コンポスト」をおすすめです。来年の土作りを今からいかがでしょうか(渡部栄子さん 69歳・土崎)
- 今の所に引っ越してきて10か月、もうだいぶ慣れて自転車で出かけることが多いのですが、近くのスーパーで知り合ったかたから野菜をいただきました。今、野菜が高いので本当にうれしいです(ゴロンタちゃん 39歳・御野場)
- 連日30度超の暑さはこたえます。暑さの中、外で仕事をしている人たちの大変さや思いうとせいたくは言われませんが(Ｙ・Iさん 63歳・外旭川)
- 今年は秋田の夏まつりに参加できないまま夏が終わりました。県外のまつりの宣伝に比べると秋田のまつりの宣伝は少ないように思います。もっとテレビやラジオで宣伝したほうが良いと思います。県外は毎日、テレビやラジオで宣伝しますよ(笑月さん 76歳・仁井田)
- 暑い暑い夏。お盆も終わり一年の半分が過ぎていく。秋は収穫多し。「秋田のおいしいお米」。元気な秋田で暮らしているから全国に秋田のすばらしさ伝わってほしいですね(ミックス猫さん 61歳・豊岩)
- 毎朝のように聞こえるヤマバトの鳴き声にいやされていきます(ヤマバトさん 46歳・八橋)

## 地域の話 おしえて!!

### 秋田北中学校ラグビー部が全国大会で優勝！ 輝いた！ 北部地域のラグビー魂

8月13日・14日に長野県菅平で開催された「第1回全国中学生ラグビーフットボール大会」で秋田北中学校ラグビー部が全国4ブロックの予選を勝ち抜いた強豪を破り、見事優勝しました。

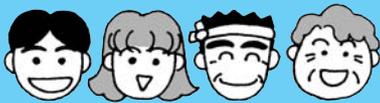
初代王者の栄冠を手にした北中ラグビー部。北中がある北部地域は昔からラグビーが盛んな地域です。部員には地域のラグビースクール出身者も多く、小さいころから楕円形のボールに親しんでいます。北中教諭でラグビー部監督の古木三規夫さんは「地域のみなさんのスポーツに対する理解にとっても感謝しています。優勝できたのも地域の協力があったこそ」と話します。自然豊かな北部地域で鍛えられ、地域のラグビー魂を引き継ぐ北中ラグビー部。将来、世界で活躍するプレーヤーが誕生するかもしれません。



表彰式を終えて古木監督(手前)と



厳しい練習に汗を流す北中ラグビー部。伝統的に体幹の強い子どもたちが多いようです



# おしゃべりかわらばん



## トップの選手はすごい

高清水ラグビースポーツ少年団でプレーしています。今回の教室ではパスの出し方などが参考になりました。グリーンロケットの佐藤平選手の強烈なタックルを見てトップリーグの選手はすごいと思いました。

「NECグリーンロケットラグビー教室」に参加した岩本拓仁さん(寺内小6年)



8月28日、八橋球技場でラグビー教室が開催され、小・中学生がNECグリーンロケットの選手などからラグビーの基本を教わりました

## 自由に作りました

家にある不要な布やフリルなどをデコレーションしてエコバッグを作りました。自由に飾りを付けて作るのも楽しかったです。ふだんも買い物にはエコバッグを使っています。今回作ったバッグもこれから活躍しそうです。



「エコバッグ作り」に参加した大原美智子さん(新屋)



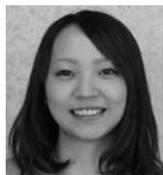
## 子育ては家族みんなで

初めてフォーラムの実行委員になりました。今回は「子育てはお母さんだけの役割でなく家族みんなで協力して行うもの」というテーマで男女共生について考えます。楽しい企画いっぱいです。ご家族で参加してください。

男女共生フォーラム(14ページ参照)実行委員の坪井和雄さん(御所野)

## 美短の元気を伝えたい

9月18日・19日は公立美術工芸短大の学園祭です。学生たちは自分の作品やパフォーマンスでみなさんに元気を伝えたいと張り切っています。来場者が参加できるライブアートもあるのでぜひ遊びに来てくださいね。



美術工芸短大 大学祭実行委員長の鷺谷彩紀さん(工芸美術学科2年)

## 積み重ねが大事

訓練には6分団22人が参加し、炊き出しを行いました。いざというときに焦らないように訓練を積み重ねていくことが重要だと思います。ふだんから心の準備をし、地域で声を掛け合うことも大切ですね。



総合防災訓練に参加した秋田市赤十字奉仕団・大住分団長の高橋知子さん

## 係からひとこと

● 広報クイズの答えに自信がないときは、広報を見直ししたり、改めて読み直したりできていい機会になりました  
(しんこ餅さん 34歳・広面)  
● 広報をいつも楽しみにしています。小さい子どもがいるので育児に関する情報をじっくり読んでいます。最新情報やほかでは得られないものが満載で参考になっています  
(N・Kさん 31歳・東通)  
● 広報で紹介されていたブラリ歩きやマラソン大会など、体を動かす行事に参加して少しでもダイエットしたいです  
(A・Kさん 35歳・將軍野)

暑い、暑い。今年は何んとうに暑い夏でした。記録的な猛暑が続き、雨の降り方もいつもの夏とは違うような感じで…。こんな夏が何年か続き、「いつもの夏」になっちゃいましょうか。ちよつと心配です。  
きれい、きれい。今年は何んとうに紅葉がきれいな秋でした。…って思えるような秋。夏の花の鮮やかな色がそんな秋を期待させます。  
おいしい、おいしい。今年は何んとうに食べ物がおいしい秋でした。…農作物を祈るばかりです。  
どうかイイ秋になりま  
すように。(渉)



## 高度救助隊の愛称が“ASRT”に決定しました

秋田市消防本部高度救助隊の愛称募集に117件(46人)の応募があり、その中から、市内に住む工藤優さんが考えてくれた愛称“ASRT”(アサート)が選ばれました。「高度救助隊が秋田市だけでなく全国の災害現場などでも活躍してほしい」との思いを込め、AKITA SUPER RESCUE TEAM(アキタ スーパー レスキュー チーム)の頭文字をとってアサートと名付けてくれました。



消防長から工藤さんへ記念品を授与(8月21日)

問い合わせ 市消防本部警防課 ☎(823)4243